

令和5年10月19日（木）

幼保連携型認定こども園に勤務する 保育教諭等に関する調査の結果

調査の概要

1. 調査目的

令和6年度末に期限を迎える、保育教諭等の資格の特例措置(※)について検討を行うにあたり、必要な基礎資料を収集することを目的とする。

(※) 幼保連携型認定こども園の保育教諭等について、

- ① いずれか一方の免許・資格のみで保育教諭等となることができる特例
- ② 免許状又は資格の一方のみを持ち、一定の勤務経験を有する者について、大学等で一定の単位を履修すること等による、もう一方の免許状・資格の取得に係る特例

2. 調査対象

特定非営利活動法人全国認定こども園協会の会員である幼保連携型認定こども園のうち、在籍する職員(主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭、講師に限る。)の中で、幼稚園教諭免許状又は保育士資格のどちらか一方のみを保有している者が存在する園の管理者等及び当該者。

3. 調査項目

別添調査票のとおり。

4. 調査時期

令和5年9月

5. 調査方法

Web調査

6. 回収結果

有効回答数: 243園(管理者等の数)、511人(調査対象である職員の数)

(参考) 幼保連携型認定こども園における保育教諭等のうち、幼稚園教諭免許状もしくは保育士資格のどちらか一方のみを保有する者 12,084人(令和4年4月1日現在)

調査の結果 ①

○年齢別、役職在職状況

・職種別にみると、主幹保育教諭は「31～40歳」「41～50歳」（いずれも25.0%）及び61歳以上（20%）、指導保育教諭は「31～40歳」（40.0%）、保育教諭は「51～60歳」（22.2%）、助保育教諭は「41～50歳」（31.7%）、講師は「31～40歳」（37.5%）の者について、併有していない割合が高い。

(人)

	主幹保育教諭		指導保育教諭		保育教諭		助保育教諭		講師	
～30歳	2	8.3%	3	20.0%	54	19.0%	6	10.0%	0	0.0%
31～40歳	6	25.0%	6	40.0%	59	20.8%	9	15.0%	3	37.5%
41～50歳	6	25.0%	3	20.0%	59	20.8%	19	31.7%	1	12.5%
51～60歳	5	20.8%	1	6.7%	63	22.2%	8	13.3%	1	12.5%
61～65歳	2	8.3%	0	0.0%	26	9.2%	10	16.7%	2	25.0%
66歳以上	3	12.5%	2	13.3%	23	8.1%	8	13.3%	1	12.5%
総計	24	100%	15	100%	284	100%	60	100%	8	100%

(参考)年齢別 職名別 本務教員の数・割合(幼保連携型認定こども園)

(人)

区分	主幹保育教諭		指導保育教諭		保育教諭		助保育教諭		講師	
25歳未満	20	0.2%	40	1.4%	19,812	23.3%	70	7.9%	46	8.6%
25歳～30歳未満	271	3.2%	277	9.8%	18,754	22.0%	78	8.8%	46	8.6%
30歳～35歳未満	631	7.5%	423	14.9%	11,711	13.7%	98	11.0%	52	9.7%
35歳～40歳未満	1,210	14.3%	585	20.6%	9,890	11.6%	117	13.1%	74	13.8%
40歳～45歳未満	1,597	18.9%	529	18.6%	7,588	8.9%	113	12.7%	48	8.9%
45歳～50歳未満	1,740	20.6%	419	14.7%	6,584	7.7%	125	14.0%	63	11.7%
50歳～55歳未満	1,330	15.7%	290	10.2%	4,713	5.5%	78	8.8%	69	12.8%
55歳～60歳未満	1,082	12.8%	169	5.9%	3,319	3.9%	84	9.4%	63	11.7%
60歳以上	578	6.8%	109	3.8%	2,834	3.3%	128	14.4%	77	14.3%

(出典)令和4年度学校教員統計中間報告より

調査の結果 ②

○担任クラス別、資格・免許保有状況

・併有していない者の約半数(56.5%)は担任を持っていない者であり、特に幼稚園教諭免許状のみの保有者で担任を持たない者の割合が比較的高い(67.2%)

(人)

	保育士資格のみ 保有		幼稚園教諭免許 状のみ保有		総計	
0歳児	32	13.2%	1	1.5%	33	10.6%
1歳児	30	12.3%	3	4.5%	33	10.6%
2歳児	27	11.1%	4	6.0%	31	10.0%
3歳児	13	5.3%	5	7.5%	18	5.8%
4歳児	8	3.3%	6	9.0%	14	4.5%
5歳児	3	1.2%	3	4.5%	6	1.9%
担任無 し	130	53.5%	45	67.2%	175	56.5%
総計	243	100.0%	67	100.0%	310	100.0%

調査の結果 ③

○併有状況別、併有しない理由

・「その他」に次いで「必要性を感じない」が多く、30.2%を占める。

(人)

	どこで受講して よいのか 分からない		取得に必要な 学習が苦手		受講時間が 取れない		代替職員が いないので職場を 空けられない		必要性を感じない		その他		総計	
保育士資格の み保有	4	2.5%	11	7.0%	20	12.7%	5	3.2%	47	29.9%	70	44.6%	157	100.0%
幼稚園教諭免 許状のみ保有	2	4.2%	1	2.1%	5	10.4%	0	0.0%	15	31.3%	25	52.1%	48	100.0%
総計	6	2.9%	12	5.9%	25	12.2%	5	2.4%	62	30.2%	95	46.3%	205	100.0%

(別添) 調査票

➤ 選択肢リスト

Q2-2
有り
無し又は未定

Q2-3
受講時間が取れない
代替職員がいないので職場を空けられない
受講費用が捻出できない
必要性を感じない
取得に必要な学習が苦手
どこで受講してよいか分からない
その他

Q3
～30歳
31～40歳
41～50歳
51～55歳
55～60歳
61～65歳
66歳以上

Q4
1年未満
1年以上、2年未満
2年以上

Q5
教職課程の修了（大学）
教職課程の修了（短大）
教職課程の修了（専門学校）
教員資格認定試験
保育士資格取得者の特例（※2）

Q11
利用したことがある
利用したことはない
事業を知らない

問5
55歳
60歳
65歳
※その他の場合は数字を直接入力

問4
H27年度
H28年度
H29年度
H30年度
R元年度
R2年度
R3年度
R4年度
R5年度

担任の有無
担任無し
0歳児
1歳児
2歳児
4歳児
5歳児